



第2155号
2025年11月2日
日本共産党根室市議団
根室市宝林町4-203
TEL 23-6023
FAX 24-1684

決算委員会行われる

根室市議会は2024（令和6）年度の決算審査を行いました。今週の市議団ニュースでは、各事業・特別会計決算審査特別委員会での、鈴木一彦議員の主な質疑内容をご紹介します。

根室市の港湾会計の主な収入は、重要港湾根室港（根室港区・花咲港区）における漁獲物陸揚使用料です。2024年度の陸揚使用料は1億2千415万円（税抜き、以下同）、うち輸入取扱種（ほとんどがロシアからのウニ）の陸揚使用料は5千365万円となっていました。前年度比で3千460万円の増となりました。サンマ、ホタテ、タラ・スケソウの増が主な要因です。

2024年度港湾会計の当初予算は赤字予算でした。上屋の大規模改修を計画したことが要因です。上屋改修は計画通り行われました。鈴木議員は、上屋が当市の主要産業である水産業を支える重要な施設であることから、今後も適切な整備を

な収入は、重要港湾根室港（根室港区・花咲港区）における漁獲物陸揚使用料です。2024年度の陸揚使用料は1億2千415万円（税抜き、以下同）、うち輸入取扱種（ほとんどがロシアからのウニ）の陸揚使用料は5千365万円となっていました。前年度比で3千460万円の増となりました。サンマ、ホタテ、タラ・スケソウの増が主な要因です。

水道事業、下水道事業会計 全国で、老朽化した水道管の破損による道路陥没、冠水などの事故が起きています。当市では、他自治体で発生した事故を踏まえ、回数を増やすなどの点検強化を行いました。その結果、異常は見られなかつたとのことです。しかしながら、上下水道とも老朽化した管は残っているので、今後も点検はもちろん、計画的な布設替えが求められます。

2024年度港湾会計の経営面では、両会計とも2024年度決算では、厳しくはあるけれども健全であると言えます。しかし、ながら、このまま人口減がすすむと、水道会計では2030年度には料金改定も視野に入れなければなりません。料金改定が必要と判断

のための制度）も含め、市民ニーズがあつたことがわかります。鈴木議員は、病床はなくなつても、市民ニーズにはしつかりと応えてほしいと述べました。

2024年9月に、市立根室病院に對して北海道厚生局による個別指導（保険診療のルールを確

認するために行われる医療機関への指導）が行われ、診療報酬の算定要件についての指摘により、医療費の返還が生じました。厚生局の個別指導による医療費の返還は、2

020年、2023年にも発生しており、病院事

業会計の利用状況は、全18床のうち8割以上稼働し、1億円以上の『売上』があつたところです。レスパイント入院（介護者の休息等のための制度）も含め、市民ニーズがあつたことから、マトランバーカードを持つインバーカードを持つ市立根室病院に對して北海道厚生局による個別指導（保険診療のルールを確

認するために行われる医療機関への指導）が行われ、診療報酬の算定要件についての指摘により、医療費の返還が生じました。厚生局の個別指導による医療費の返還は、2020年、2023年にも発生しており、病院事

されれば、必要十分な議論ができるよう、速やかに市民および議会に知らせることを求めました。

務局はその都度「再発防止策を講じ、適正な管理に努める」としていますが、指導内容が異なつて

いるとはいえ、結局は繰り返していることになります。鈴木議員は、再発防止に向けた強力な対応を求めるました。

後期高齢者医療保険会計 2024年度から保険料率の改定が行われ、均等割では年間5万1892円から5万2953円へ1061円の増、所得割で10.9%から11.8%へ0.81ポイントの増となりました。202

2024年度高齢者医療保険会計の受診向上に向けた取り組みを強化するよう求め